

# 国際交流のひろば

## 「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

本学の国際戦略及び国際交流に係る基本方針に基づき、海外の大学等との研究交流を推進するため、「海外との研究交流事業」を行っています。今年度は1件の事業が採択されました。

ドイツの音楽科の教員養成における演奏技能の向上と指導方法（教授法）、日本の音楽教育における伝統音楽の特徴と楽器について、ドイツで研究交流を行った音楽コースの尾崎祐司准教授の報告です。

2019年11月5日から14日の期間、ドイツのフランクフルト（ヘッセン州）とコトブス（ブランデンブルク州）を訪問してきました。フランクフルトでは、地元のフランクフルト放送交響楽団が小学校の演奏訪問を行っていた時期で、郊外にあるバード・ヘルスフェルトという町の学校での演奏会の様子を参観しました。コトブスではブランデンブルク工科大学（BTU）のシュレーダー教授（声楽）を訪問し、本学との交流協定締結に向けた交渉と音楽の教員養成を行っている授業の様子を参観しました。また、日本音楽の特徴について小中学校で扱われている教科書教材をもとに講演を行いました。

コトブスはポーランドとの国境近くにある人口10万人程度の都市ですが、日本語を選択科目に採用している中等教育学校（ギムナジウム）があることもあり、日本の文化に興味・関心のある大学生もいました。本学にとってもグローバルな人材を育てられる教員の養成につながれば、と強く思いました。



日本の音楽の特徴について講演を行いました



日本の文化に興味のある学生に鼓の打ち方を指導しました

コトブスにある中等教育学校



## 令和元年度留学生成果発表会

2月18日(火) 13時30分から人113において、令和元年度留学生成果発表会を開催しました。

発表者は3月修了予定のエンヘトゥル・エンヘバトさん(モンゴル、学習臨床・授業研究、教員研修留学生)と邱子庭さん(台湾、国語、M2)です。

2名の留学生は、それぞれ日本での留学生活の感想や本学での研究成果の発表と修士論文を書くことについて後輩へのアドバイスについて話しました。



## 令和元年度留学生スキーのつどい

2月20日(木) 21日(金) 上越市安塚区のキューピットバレイスキー場において、留学生スキーのつどいを実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して、留学生相互及び学生、教職員との親睦を図ることを目的として実施しています。初めてスキーを体験した周楓さん(中国)から感想文を寄せてもらいました。

### 大学院1年 周楓(中国)

今回、スキーのつどいで、キューピットバレイスキー場に行って、初めてスキーをした。私の出身は中国の南方ですから、冬になっても、雪を見る機会が少ないです。

1日目、着いた後すぐに外に集合し開講式が行われた。初心者グループとして、馬さんと一緒になった。初めて履くブーツは雪の上を歩くのが大変だった。そしてスキー板の履き方を教わり、片足だけで滑る練習や両足に板をつけて坂を登ったり、滑って止まる練習をした。板を持って斜面を登り、その途中でスキー板を履いて練習や転ぶ練習をした。午後は初めてリフトに乗った。乗り降りができるか不安だったが意外とすんなりできた。そして斜面を滑った。しっかりと止まったり、曲るのが難しく何度か転んでしまった。

2日目、午前中には3人乗りのリフトに乗って、それまでより高い場所から滑った。リフトを降りた所から下を見ると急だったので、滑ることができない。昨日と同じように何度か転んでしまった。午後になったら、馬さんは膝が痛いので休んだ。私と先生と一緒にリフトに乗って滑った。一番最後はそれまでよりも急な斜面を滑った。やっとできた！すごく楽しかった！そして閉講式が行われ、スキーのつどいは終わった。

また来年も楽しみにしています。



リフトに乗って山の上まで行くことができました。  
インストラクターに続いて滑っていきます。



天気も雪も最高のコンディションでした

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)